

ライオングループのCSR管理体制の構築

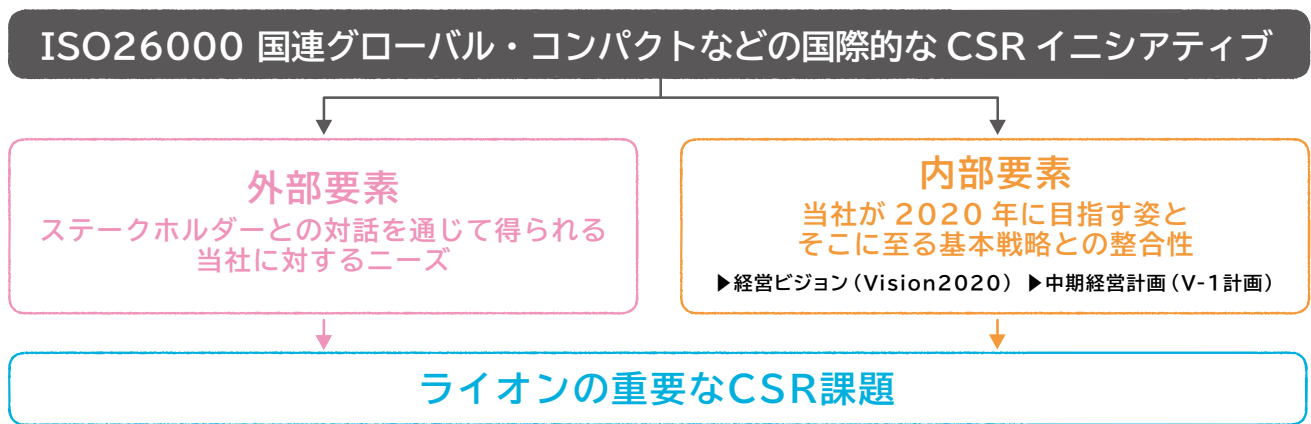
CSR目標の設定と進捗管理

● CSR活動の推進

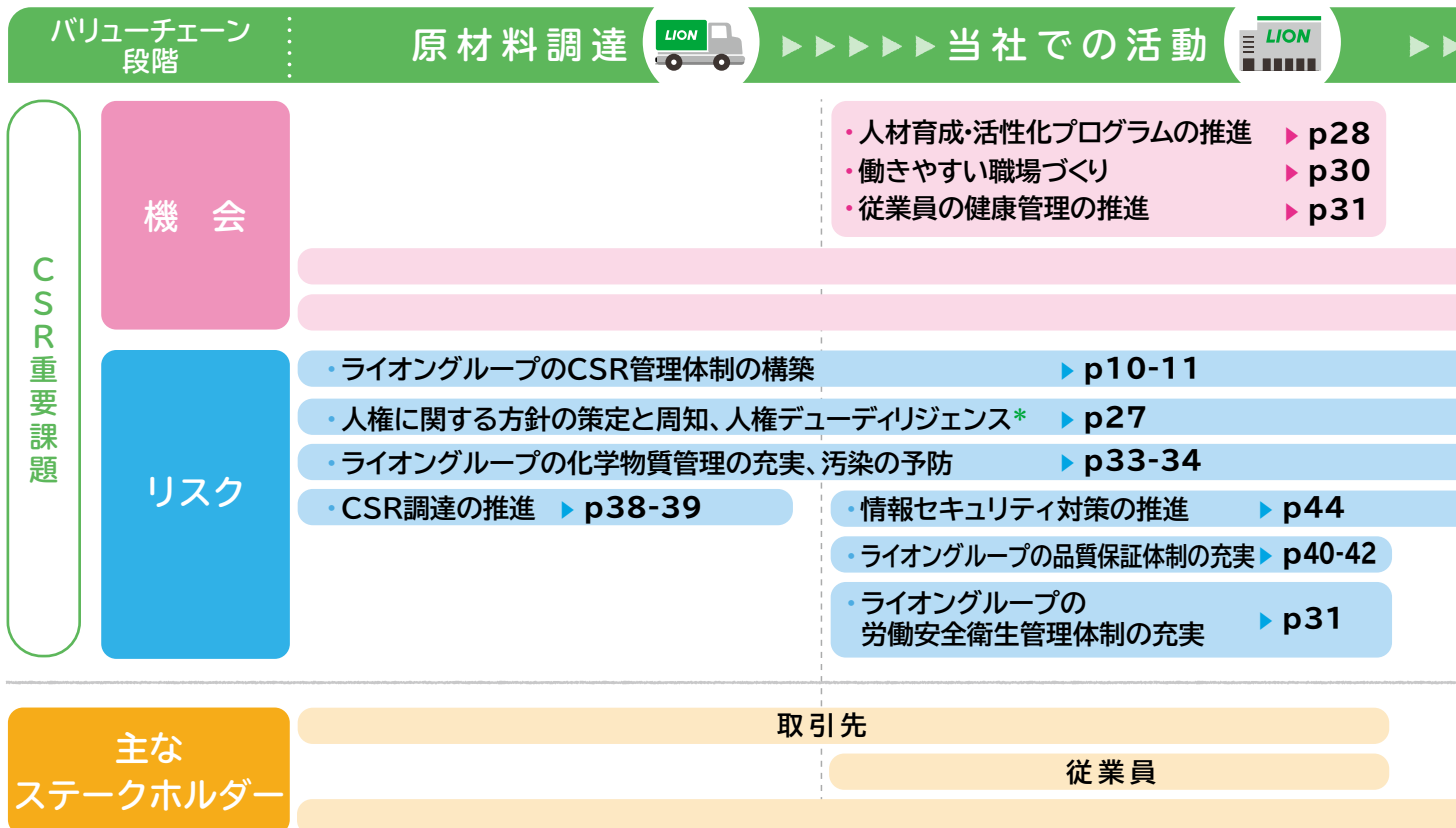
当社は、2011年から国際的な社会的責任の手引きであるISO26000を活用し、第三者機関の意見を参考にしながら、国内グループにおいて対応状況の確認・評価を行ってきました。CSRに関する世界的な動向や当社グループの事業特性、潜在的なリスク・機会と影響度などを検討し、2012年にCSR重要課題を特定しました。

また、重要課題それぞれにおいて、経営計画に合わせた3カ年の中期目標を設定し、PDCAによる改善活動を行っています。海外グループにおいては8社を訪問し、CSRの取り組み状況を把握した上で、中期目標を設定しました。今後は、PDCAによる改善活動を進めます。

重要課題の特定プロセス



● バリューチェーンと重要課題 (2014年の活動を関連ページに記載しています。)



*人権に関連する悪影響を認識し、防止し、対処するために組織が実施すべきステップ。

2014年の実績

2014年は、中期経営計画V-1の最終年度であり、それぞれのCSR重要課題において、目標達成に向けた活動を推進しました。

2017年の目標設定

中期経営計画V-2の開始にともないV-1の評価と課題をふまえ、2017年中期目標を設定しました。

関連情報 p12-15

特に進捗した活動1

～健康で快適な生活習慣づくりに
つながる社会貢献プログラムの充実～

2014年ハイライト① 予防歯科の推進

ライオンは生活者の健康で快適な生活習慣づくりを目指し、年間を通して予防歯科啓発活動を実施しました。従業員一人ひとりが「予防歯科」の重要性を認識し、行政・学校・病院・歯科医院などの社外団体との連携を通じて、生活者のライフステージに沿った啓発活動に全社で取り組みました。関連情報 p17-21

特に進捗した活動2

～健康で快適な生活習慣づくりに
つながる社会貢献プログラムの充実～

2014年ハイライト② 「キレイキレイのまち 坂出」プロジェクト

当社のハンドソープ生産工場がある坂出市で、衛生習慣を浸透・定着させることを目的に、坂出市、ライオン(株)、ライオンケミカル(株)の3者が連携して「キレイキレイのまち 坂出」プロジェクトを立ち上げました。関連情報 p22-23

関連情報 p22-23

特に進捗した活動3

～暮らしに役立つ生活情報の
発信と啓発活動～

新しい情報発信「Lidea」の開設

暮らしに役立つ生活情報を提供する「ライオン快適生活研究所」が中心となり、くらしとココロを彩るようなIdea(=知恵や情報)を共有する新しい生活情報メディア、「Lidea」をホームページ上に開設しました。関連情報 p43

関連情報 p43

消費者による使用



社会・環境



・暮らしに役立つ生活情報の
発信と啓発活動 ▶ p43

・持続可能な社会の発展に貢献する
商品・情報の提供 ▶ p44

・先進的な環境への取り組み ▶ p32-37

・健康で快適な生活習慣づくりにつながる社会貢献プログラムの充実 ▶ p16-23, 45-47

・リスクマネジメントの推進、コンプライアンスの浸透／内部統制 ▶ p24-26

お客様

地域社会

環境

株主・投資家